



ヴァーヂン
トレイン R3

第8話

本当に
望まぬ
快樂

あのときの
ホテルでの一件

それ以降は
本当に
何もなかった

カタン カタン

電車の中で

あの男の人は
たまにみかける
こともあった

それでも
痴漢はしてこない

どれだけ
近くにいても
まったく私に
触れてこない

あんなに…

私のことを
あんなに…
してたのに…

次の日も…

次の日も…

何も起きない

当たり前といえば
当たり前
なんだけど…

電車に乗っても

痴漢をされない日々…

何もない日々…

カタン カタン

まるで

あんなに激しく
電車の中で
イカされたのが

夢だったかのように

カタン カタン





電車に乗ってるだけで

あんなに泣かされて...

正気のなひ...

カタンカタン



痴漢されなくなって

ホッとしているはずなのに...



見ず知らずの男に
痴漢されることなんて

あんなにイヤだった
はずなのに...



カタンカタン...

カタンカタン...

私...


電車の中で
疼いた体を
ひきずって

家に帰ると

毎晩のように
オナニーにふける…

あの人からもらった
ローターで…





いけないと
分かっていても
止められない

しかも
オナニーしながら
思い浮かべるのは

電車の中で
無理やりあの人に
犯されている私：



こんなの…!!
うる
うる

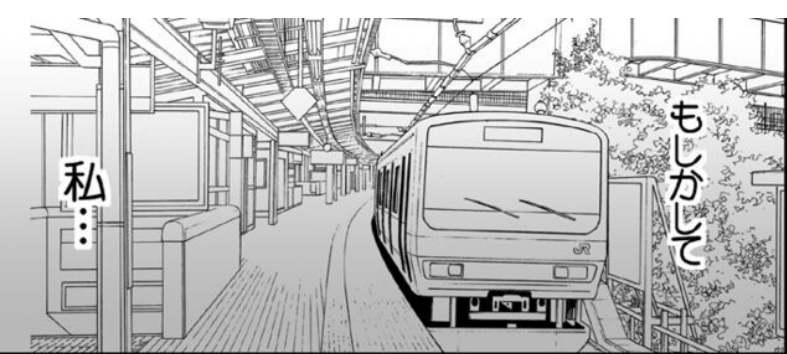


タマ…!!



私…何を考えてるの!!

こんなの…



私…

もしかして

認めたいなよー

認めたいなよー

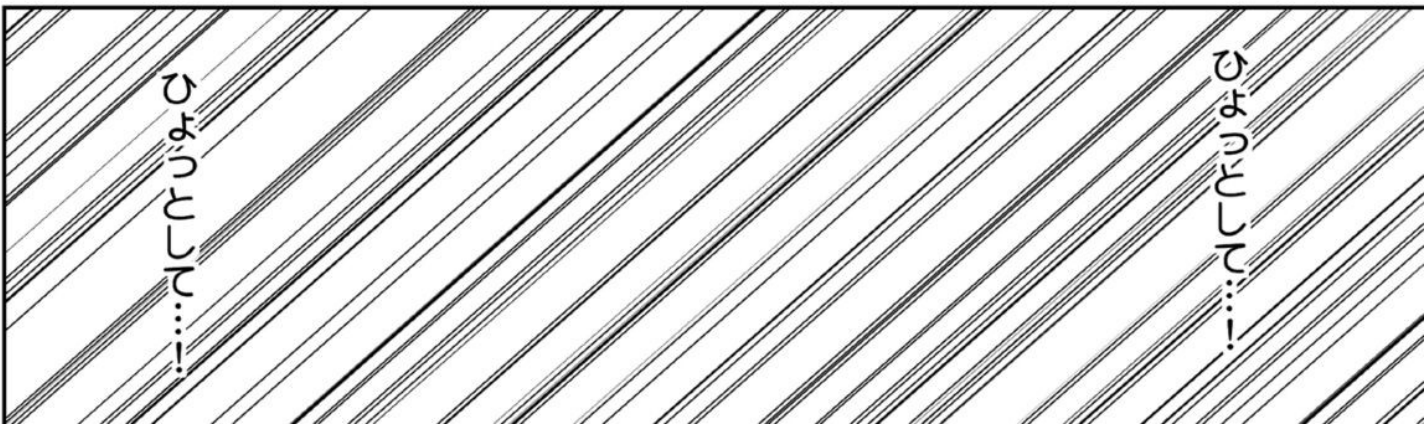
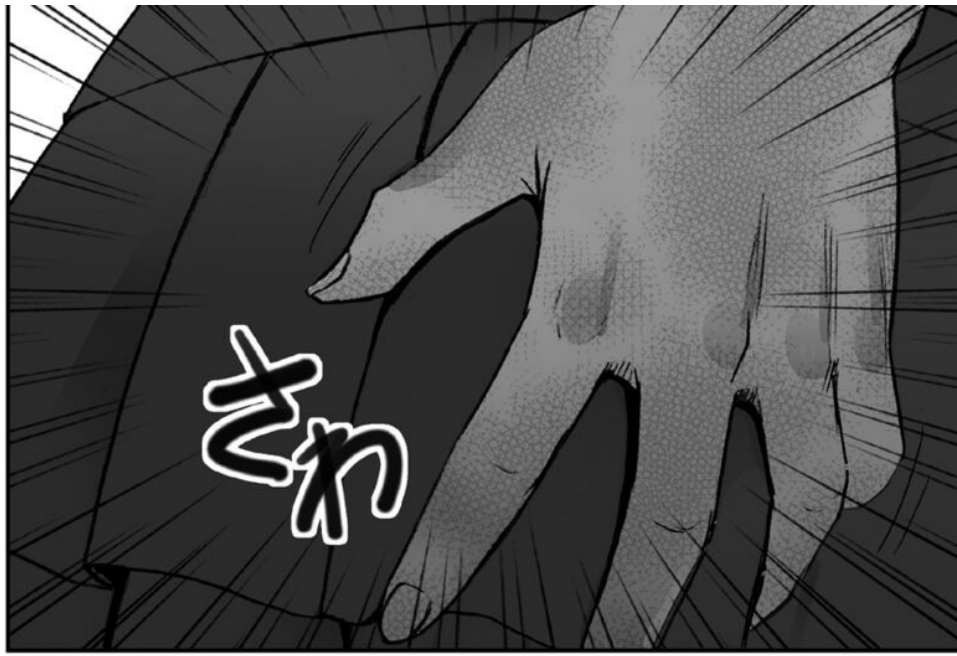


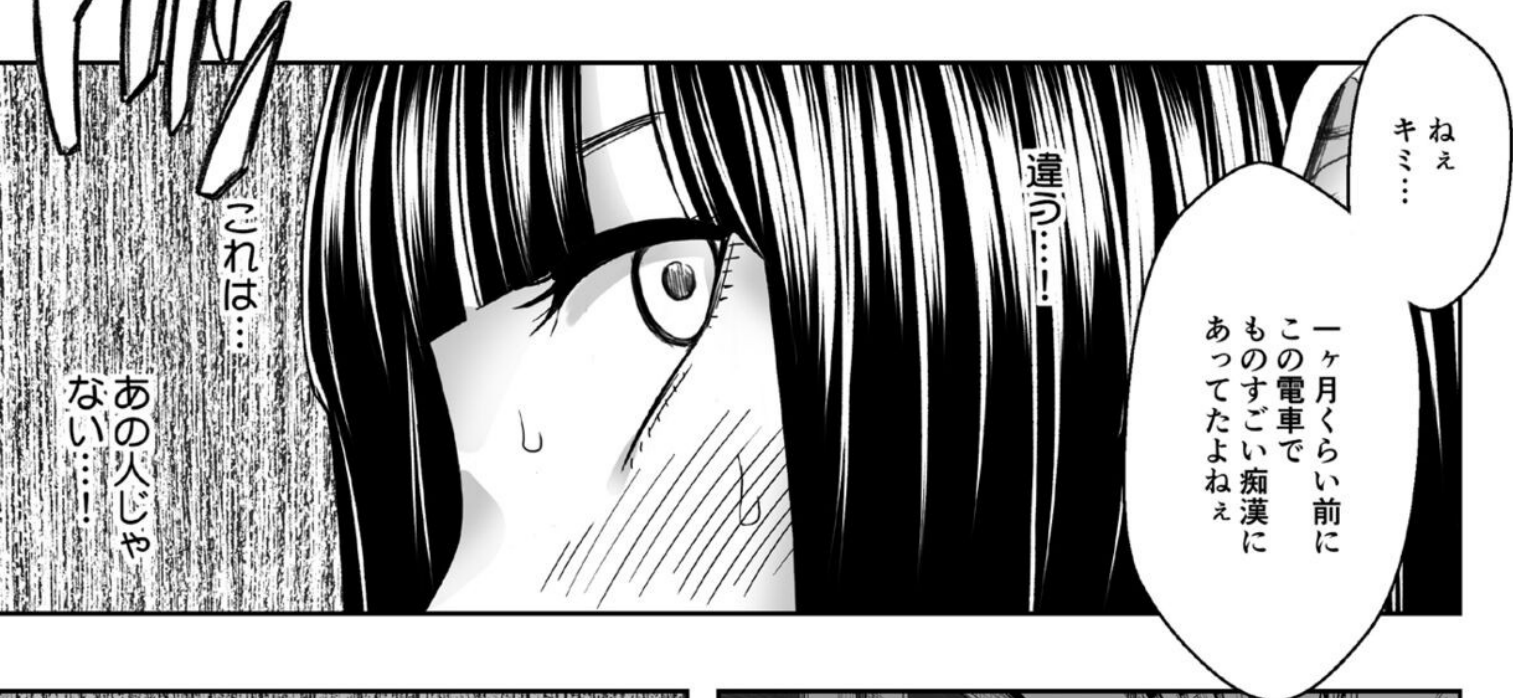
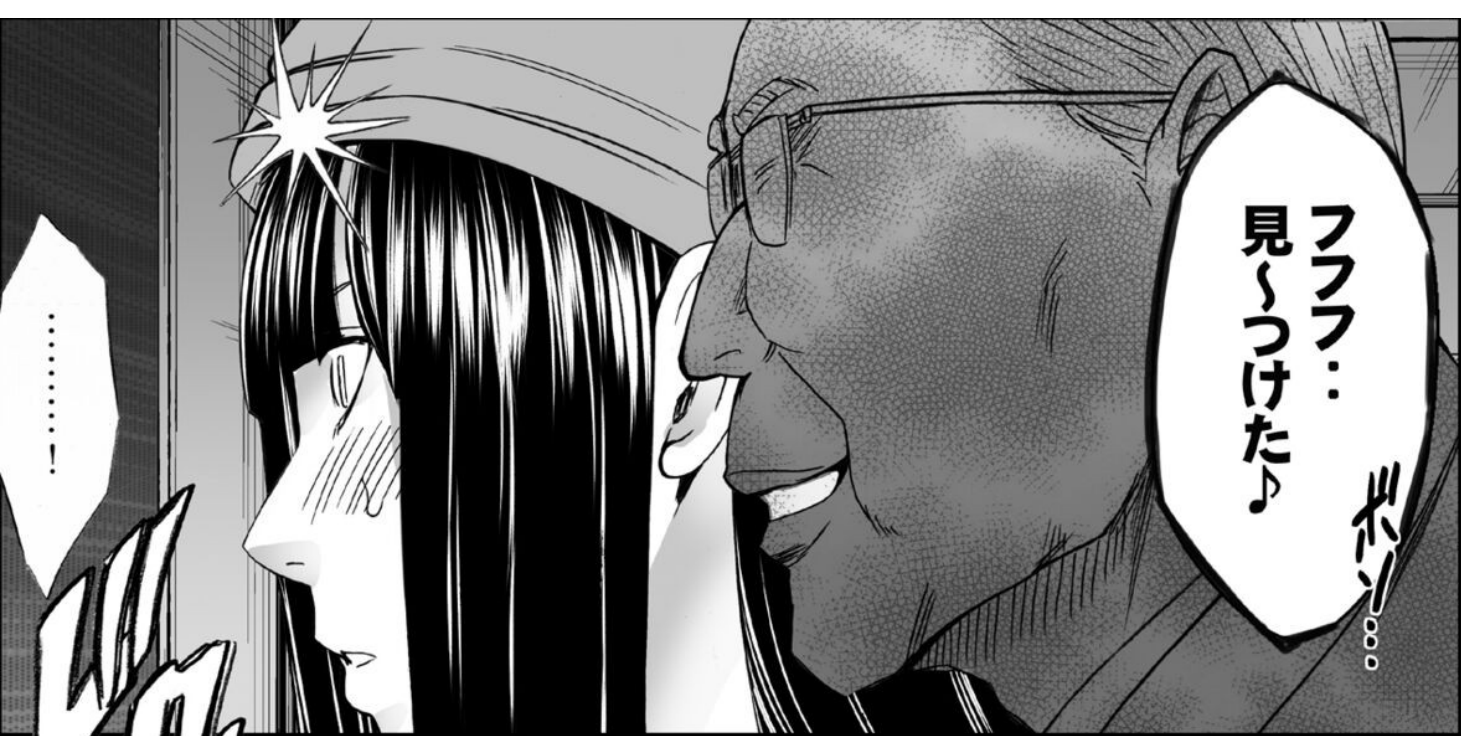
あの人に…

もう二度…

カッ

カッ







是非ワタシも
触ってみたくてねえ

探したんだよお？

ワタシにも
試させてくれよ

キミのこの
Hなカラダ

ドキッ
ドキッ
……！

100%Heart

ドキッ
ドキッ



おおっ！
ノーブラなんだね
フッフッフッフ……

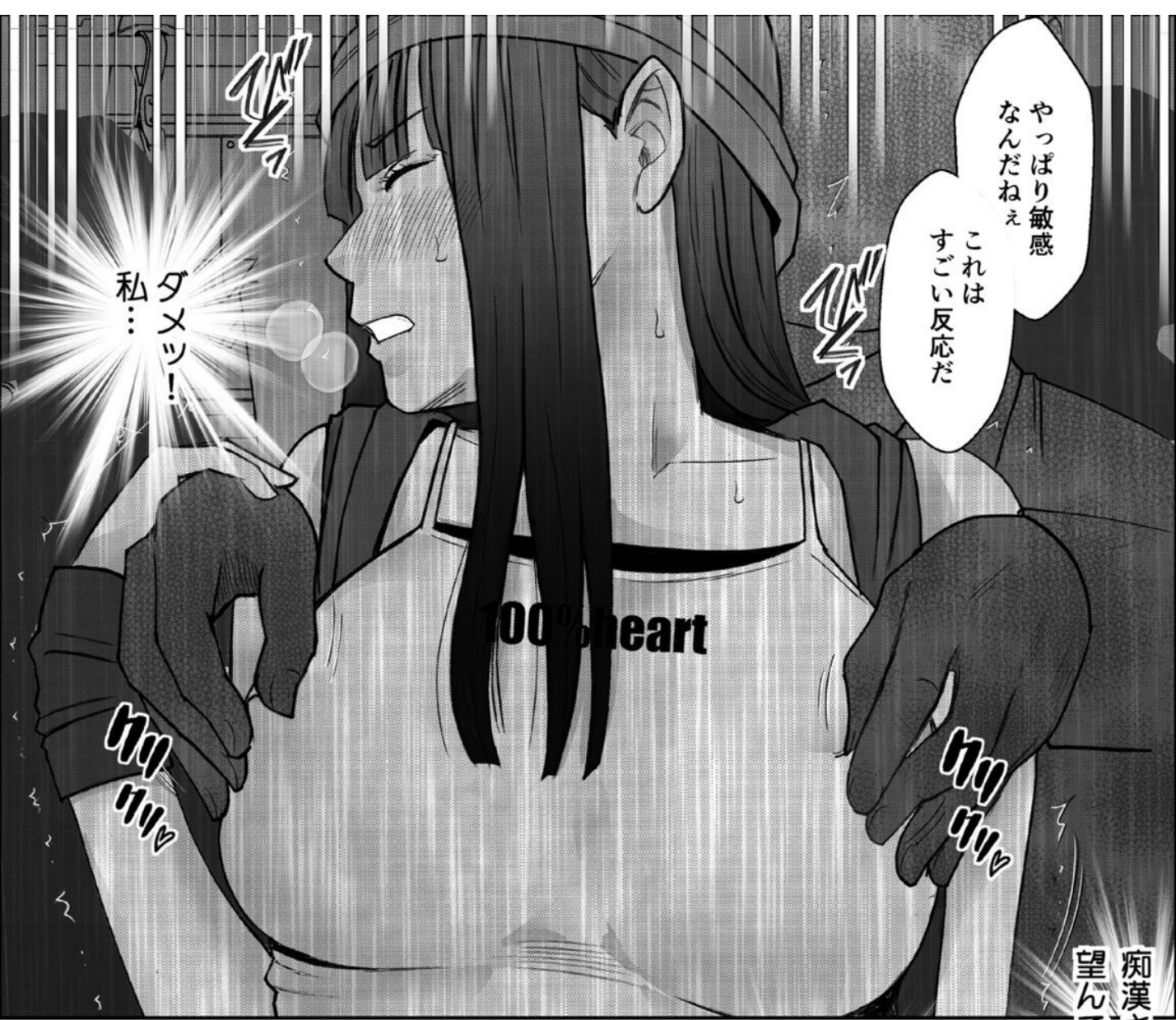
フッフッフッフ

え？
あれ……

Hだねえ……

まるで痴漢されるのを
待ってみたいじゃ
ないか？
ニヤヤ

何でわたしブラジャーを……！



やっぱり敏感
なんだねえ

これは
すごい反応だ

痴漢されることを
望んでなんかいない!



おや?
どうして
抵抗するんだい?

あの男には
あんなに好き放題
触らせてたじゃないか



ちゃんと
抵抗しないと!

.....
!!



仕方ないですねェ





困んでしまえば
気の強い女でも
おとなしく
触られるだけになる

ツンとすました
高飛車OLの
パンツを
ビチョビチョに
してきたことも
ありましたねえ

でも
さすがに

電車の中で
イカせるところまで
やれたことは
無いんですよ



ワタシも
あんな若い男には
負けてられません

キミを
あの時以上に
イカせまくって
あげましょう



あのときの
キミのイキっぷりは
すごかった

あんなふう
に
電車の中で
イクなんて…

久しぶりに
興奮しましたよ

ほらほら
どうです？
あの男よりも
うまいでしょう？

違う……！

違う……！

ひひひひ

100%heart

おおっ
もう濡れまくって
ますよ

やっぱり
感じてるみたいだねえ？

ち…違う…！
これは…！

あの人は
何かが違う…！

いいんだよ
遠慮せず…

アハハ

アハハ

こんなの…！

イキたかったら
イケばいいんだよ

どんなに触られても
嫌悪感しかない！

アハハ

ほらほら
イッてよ

ワタシ達に
イキ顔を
見せてよ

もうこれ以上

触られたくない…！

アハハ

大勢の男に
囲まれて
なすすべも無く
責められて…

イヤでイヤで
しよすがなかつたけど

ホント
すごいッスね
この女

そうでしょう？

100%heart

イヤがってるのに
感じてる

心の中で
こう誓っていた

それでも
私は

とんでもない
エロい体の
マゾ女なんですよ
このコは

あの人に
開発されていた
私の体は

勝手に反応して…



ズンズン

ズンズン

グワッ

グワッ

ズンズン

こんな人の手じゃ

絶対にイカない!

100%heart

イカない...!
イカない...!

何をされても...

イキたくも
ないし...!

こんなの
気持ちよくも
何ともない!

あゝ
やっぱり
こうすると
感じるんだねゝ

私:
こんな人達の手じゃ
絶対にイカされない!

分かってきたよ
感じるツボが

100%heart

違う…!!
違うッ!

感じてなんか
ないッ!

ホント
かわいいね〜

女子大生だよね?

こんなのじゃ
なかった…!!

名前は何ていうの?
教えてよ

こんなふうには
集団で囲んで…

力づくで無理やり…
抑え込んで…

あの人のときは
こんなのじゃなかった!

あの人のときは…!!





●●大学の
●●学部なんだね〜

ムキッ

……!



へえ〜
黒羽みつちゃんって
言うんだ〜

かわいい名前だね〜



勝手に
バッグの中を……!

え……!?



勝手に私の外側を
触って

heart

荒らして散らかして
去っていくだけ



やっぱり
違う!

同じ痴漢でも
全然違う!

この人や

今までの痴漢たちは
すべて

んでも
あの人は違う

あの人は
一枚一枚
扉を開けて
私の中に入ってきて...

もっと
私の中に...

をねじ...





今後一切
痴漢はしないし

なんならオレを警察に
突き出していい



携帯のアラームを
セットした

60:00

停止

あの人は...

今から一時間後
このアラームが
鳴るまでに

キミがずっと
拒否し続けたのなら
キミの勝ちだ



でももし
キミが一度でも
自分の意志で

最後までしてほしいと
いうことを
認める行動を取ったら

キミの負けだ

あの人は...



まあ

「負け」と言っても
そのときは

キミのして欲しいことを
するわけだから



そのとき
私は

自分の気持ち
がはっきりと
分かった…



私は…

キミの
欲しいことを
するわけだから



他の人に
触られることで

はっきりと
自分
の気持ちに
気づいた



私は…

私は…!!

100% heart

あの人に犯されたい…!!

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

三香

三香

ズンズン





これだけはダメシッ!

100%heart

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

この人達の
手なんかじゃ

ニャニャ

何をされても
イカないけど…

ちょっと
押しあてただけで
すごい反応だ

このローターは
ダメツ!

これは…!

100%heart

普段から持ち歩くほど
使い慣れた
ローターですからね

よっほど
気に入ってるん
ですかねえ

あの人の
ローターだから…!



あの人にもらった
ローターだから…!!

これで
責められるとツ!

いっくら
いっくら
思い出しちゃって…!!



ダメっ!!

イキますよ

電車の中で
イキますよオ!



ガマンできない!!



お?
イキそうですね?

ほら
もっとしっかり
押されて



イッチャッー!!



イカされちゃうー!

イキなくないのにー!

ズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン



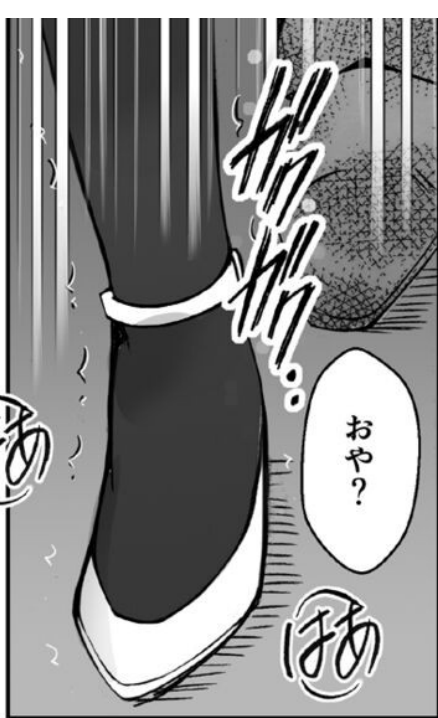
うるうる

おやおや？

いった？
今
いったよね？

カラダが
ビクビクって
なりましたよ？

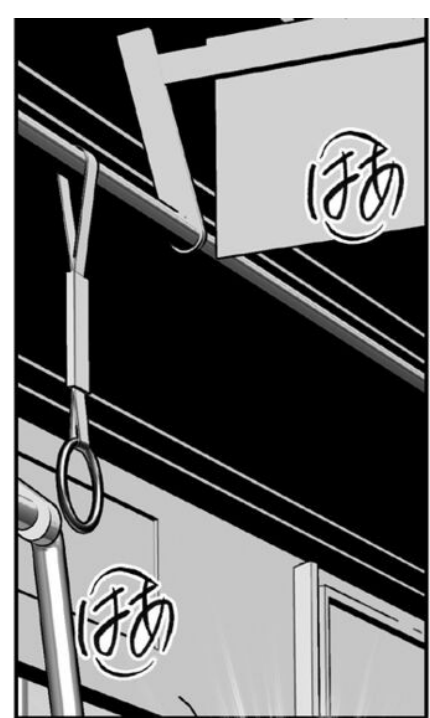
あ



あ

おや？

あ



あ

あ



否定しても
ムダですよ

こんな人たちの前で
イッて…

あ



そんな…
私…

うるうる

あ



フフフフ
サイコーですよ
キミは

ホントにHな
女のユダ

ニヤニヤ

さて…
一度
イカせたんだから—





そ…そんなっ!

いざっ!

乳首を
直に舐められるのが
そんなにイイかい?

びんびん

びんびん

いざっ!
いざっ!

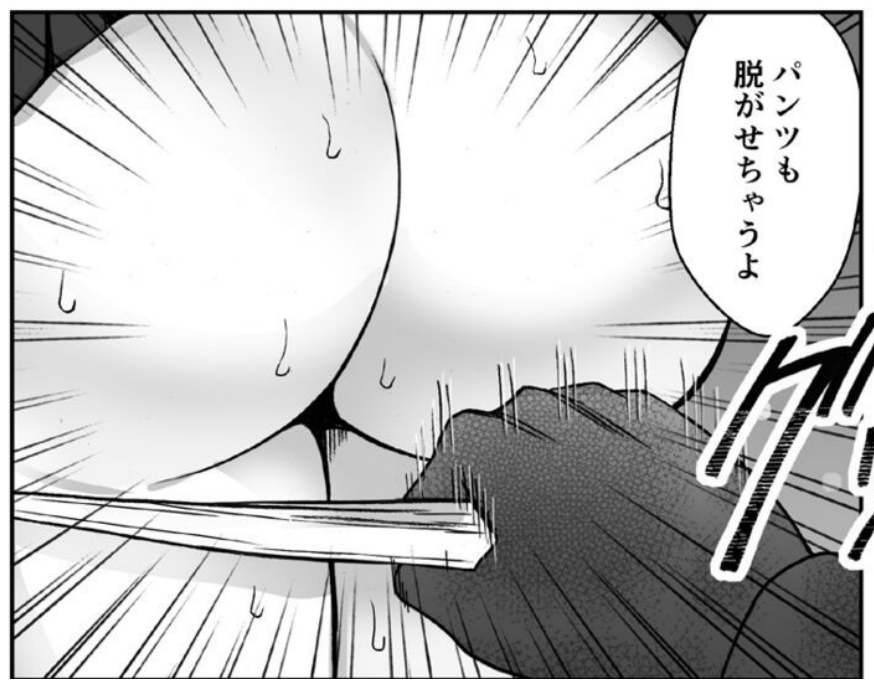
いざっ!
いざっ!

この人たち
一体どこまで
するつもりなの?!

私:
この人たちに
すべてを許した
わけじゃないのに!



やっ!



パンツも
脱がせちゃうよ

びんびん



今度は
オモチャじゃなく

ワタシ自身のモノで
イカせてあげよう



ガッ



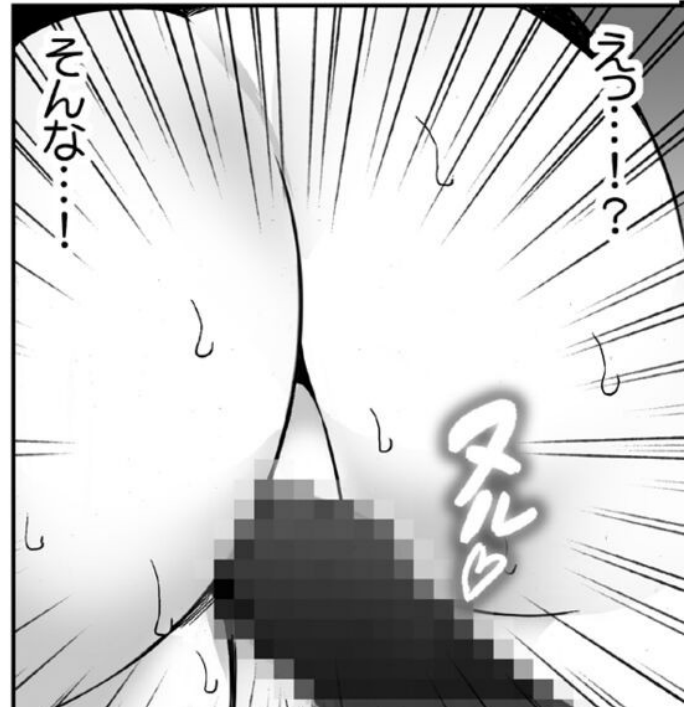
ガッ

……！

……！



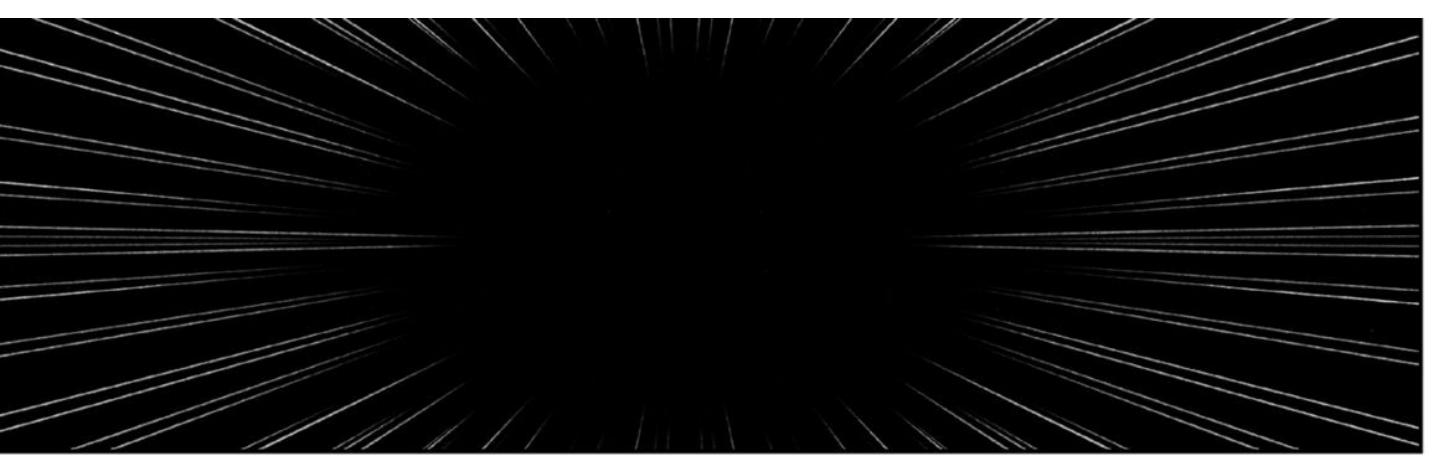
……！



……！

アッ

……！





今……

犯されたいと
思っていた
相手が

突然目の前に
現れて……

しかも
痴漢としてではなく

私を痴漢から
助けてくれる人として……

私は
どうすればいいのか

何も
わからなくなって

どうしたの？
不思議そうな
顔して……

痴漢されてた
みたいだから
助けただけけど？

何か
おかしい事でも
ある？

そしたら
やっぱり

この人は

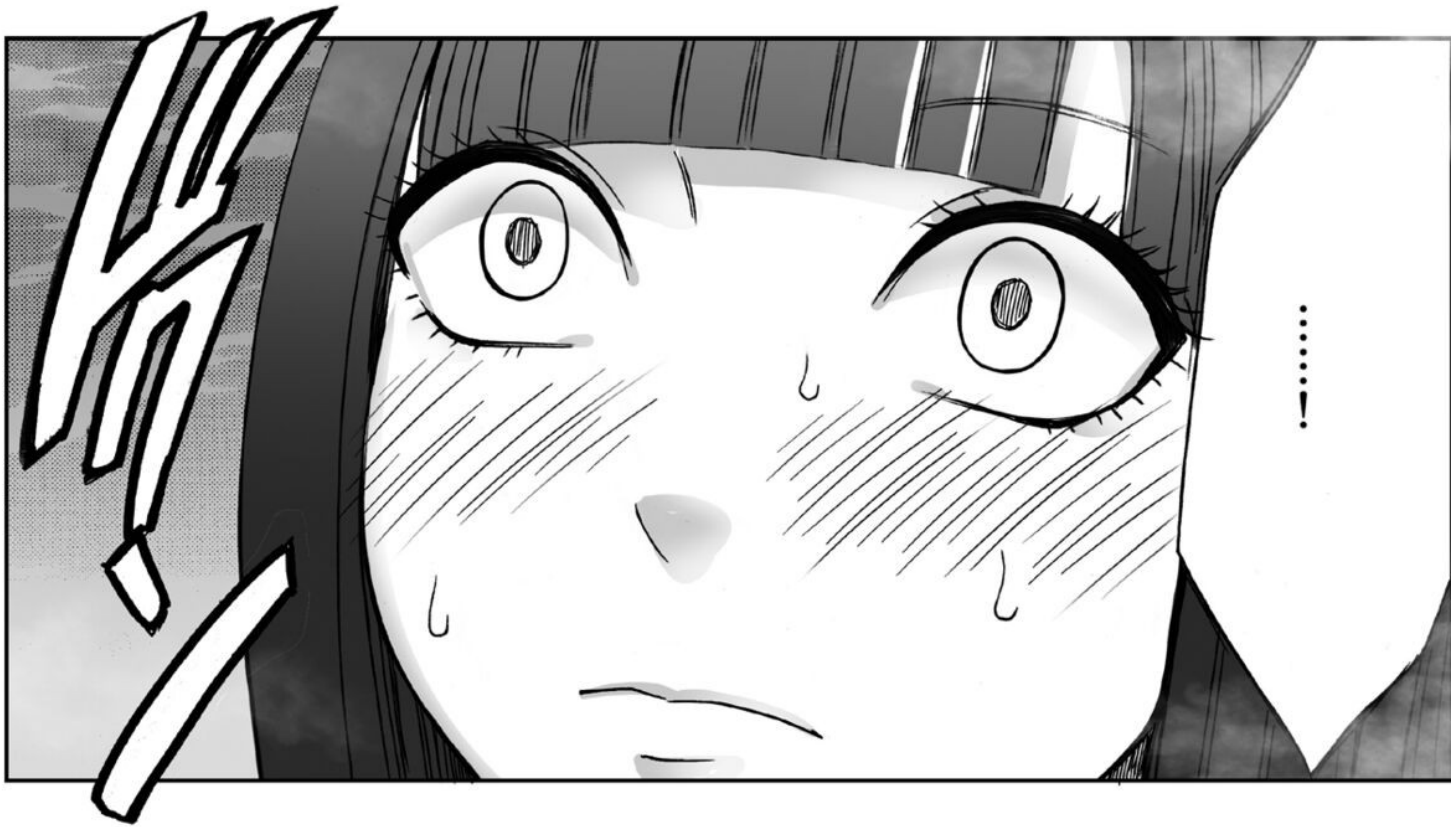
私の事を……



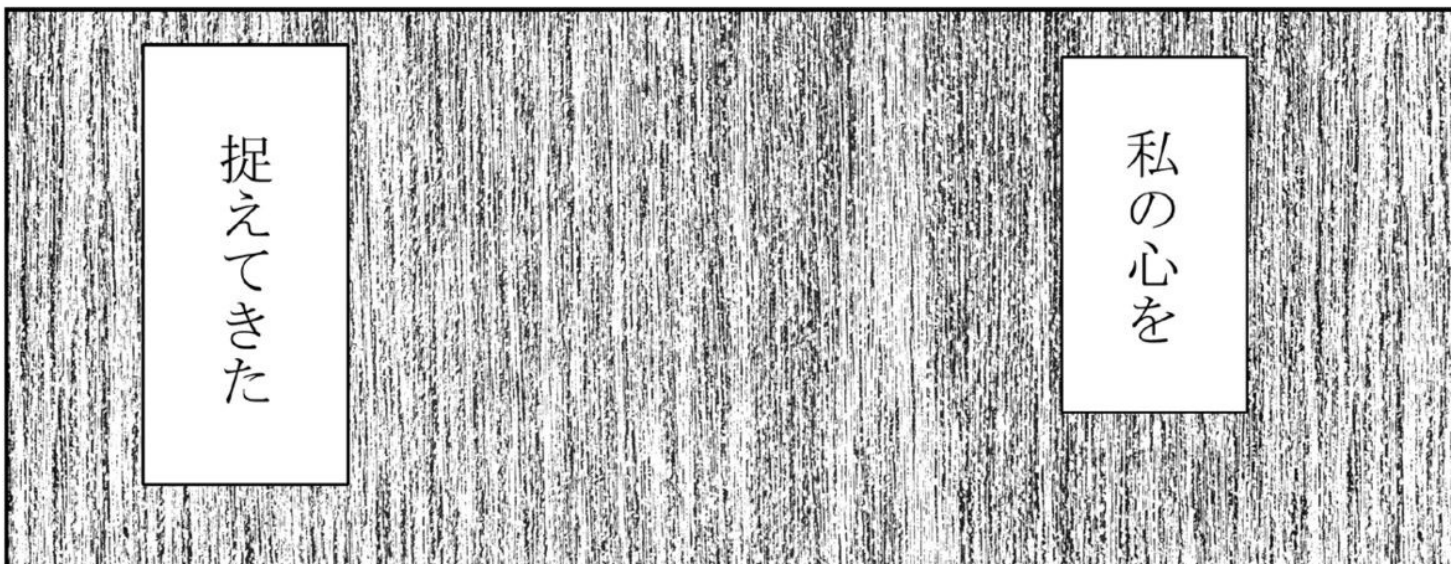
結構
いろいろひどいこと
されてた
みたいだね

このまま
大学にも
いけないだろうし

一度
自宅まで
送ろうか？



……！



捉えてきた

私の心を

最終話

結合



そのまま
言われるがままに
一緒に自宅に…

「あの人」に
助けてもらった私は

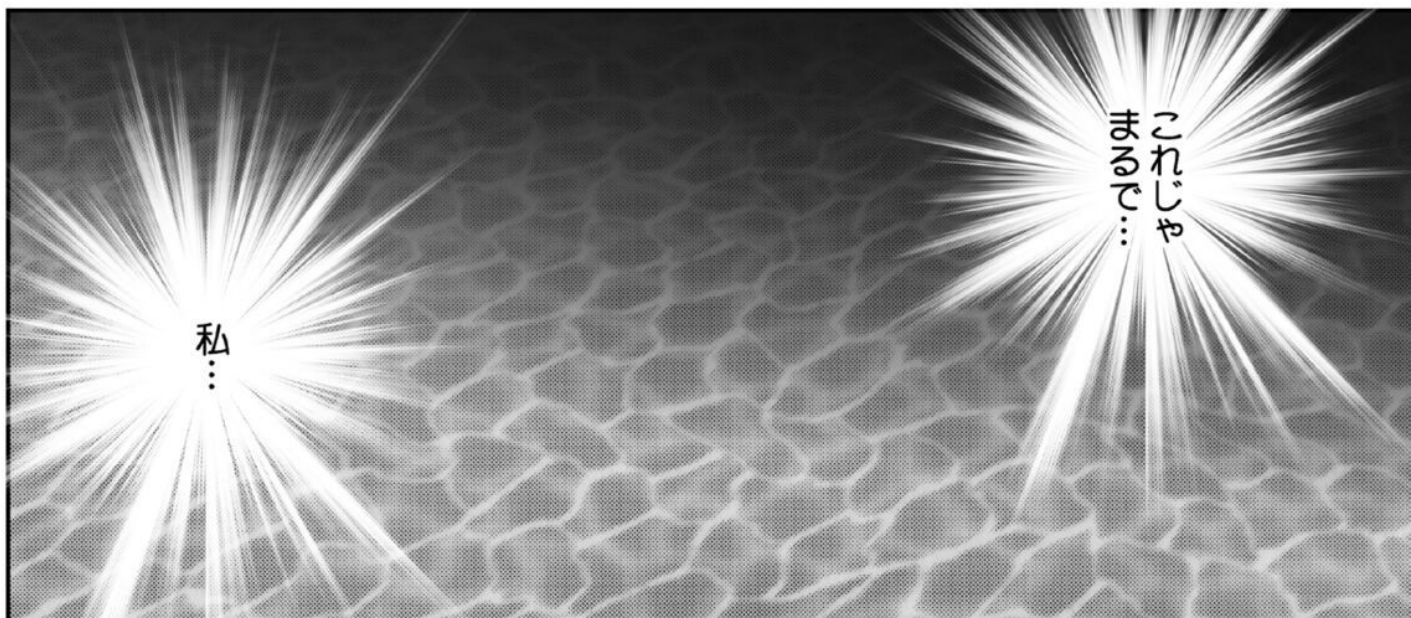


こんなの絶対に…

自分の家に
男の人をあげるなんて…

何でこんなことになる…

やだ…
私…



私…

これじゃ
まるで…



待って！



でも
これは

痴漢じゃ
ないよね？

ズル
ズル

キミだって
本当のところは
どうなの？

あのと
きの続きが
し
たか
ったか
ら

こうやって
大人しく
自宅に連れて
来たんだらう？

それなら
これはもう

ただの

合意のセックス
だよな？

い…いや…
違います…！

私はそんな…！



そう言ってるわりに
さっきの痴漢のときと
くらべて

ああ…

やっぱりこの人は

他の人に痴漢されて
気づいたんだろう？

抵抗が弱いように
見えるけど？

やっぱり
オレに
触られるのがイイって

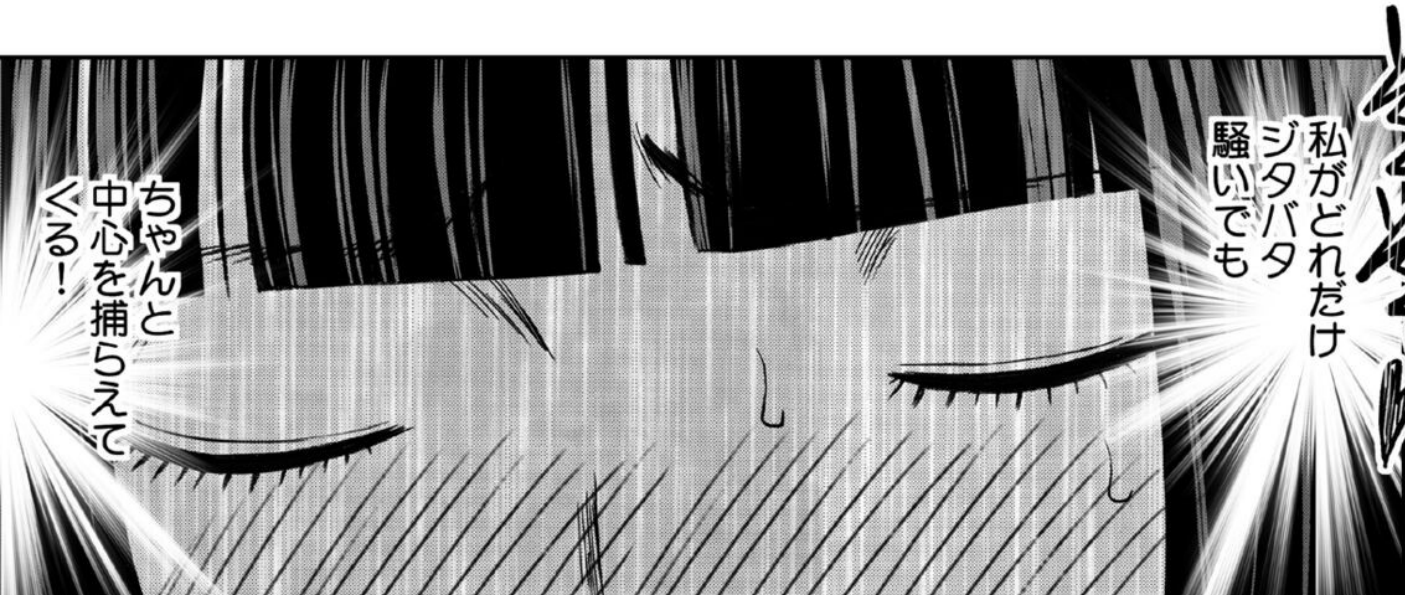
びんびん

びんびん

すべてを
見透かしてくる…!!

ズリ
ズリ

ズリ
ズリ



私がどれだけ
ジタバタ
騒いでも

ズンズンズンズン

ちゃんと
中心を捕らえて
くる!

私…

私…私…

私…私…

私…

この人に
支配されたい…!!



それから
一時間

ほら
今 頭の中で
思っていることを

口に出して
行ってごらん?

え...あ...

私は
またあのホテルの
ときのように

焦らされ続けた

やっ...
やめて...
くだ...さい...

ひひひひ

ひひひひ

ひひひひ

ひひひひ





逃げることも
股を閉じることも
出来ず

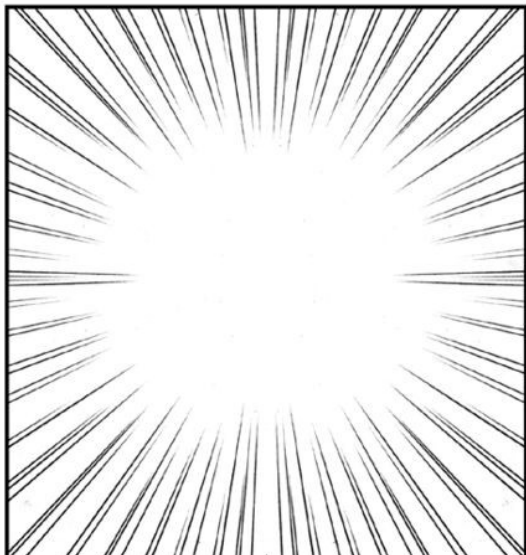


いつのまにか
足も拘束され

フフフフ…
そうじゃないだろ？



まだ理性が
あるんだね
ちゃんと全てを
認めるまで
いつまでも
続けるよ



じつくりと
体中の各部分の快感を
呼び覚まされては

イク直前で
手を緩められる

その繰り返し





ついには
手も拘束され

完全に
身動きも出来なくなり

アハハハ
アハハハ



股間の一番気持ちいい部分を集中的に舐められたり



舌をアソコの中に入れて

自分でも触ったことのないような部分をねぶられたり…



実際の
時間としては
一時間だったとしても

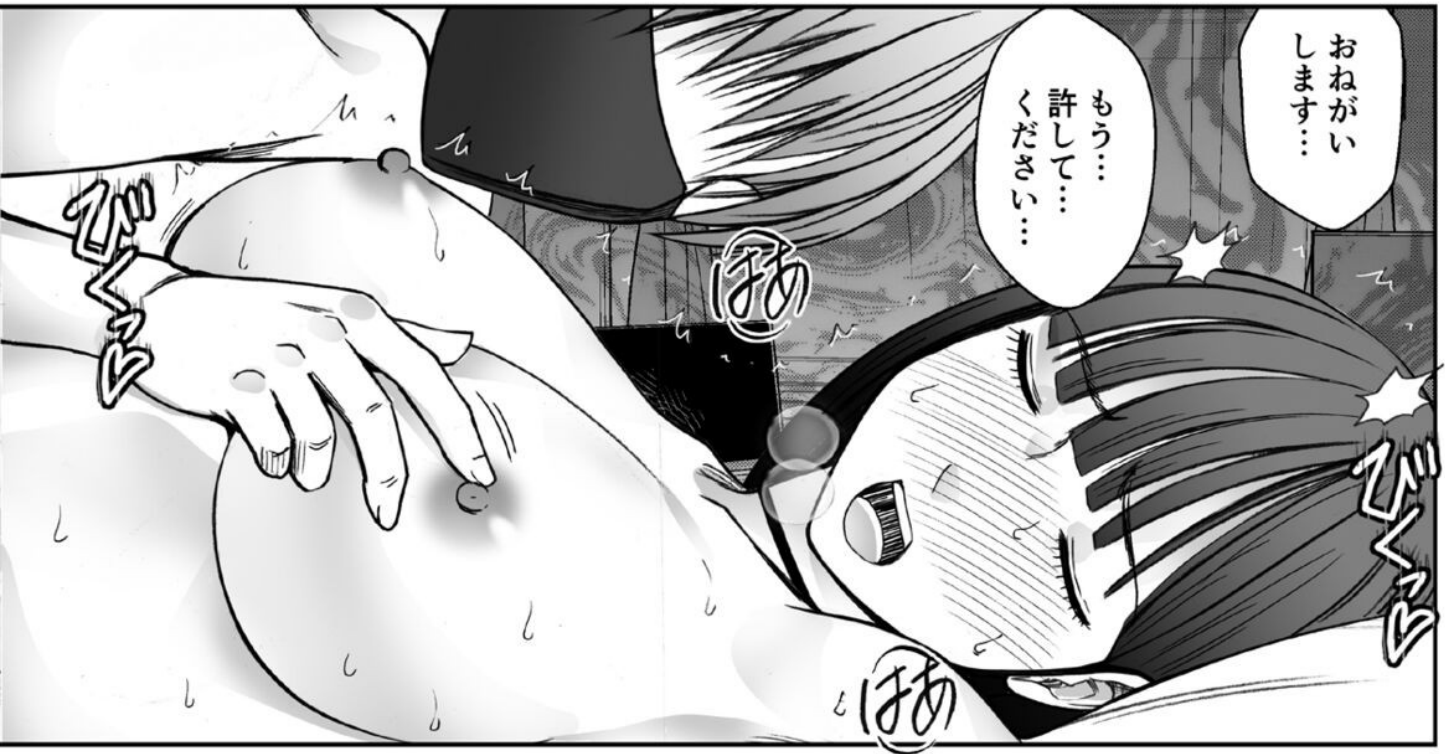
まるで何十時間も
拷問され続けている
ような

そんな感覚だった

実際の時間としては
1時間だったと
しても

まるで
何十時間も
拷問され続けている
ような

そんな
感覚だった



おねがい
します…

もう…
許して…
ください…



じゃあ…
もう一度
聞いてみようか

覚えてる？



……



あの時…

ホテルでした質問を



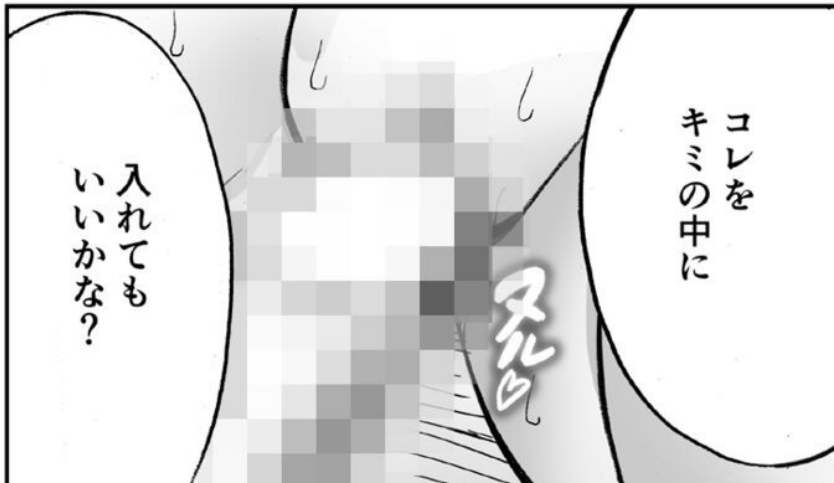
ドキッ

ドキッ

……!



……!



コレを
キミの中に

入れても
いいかな?

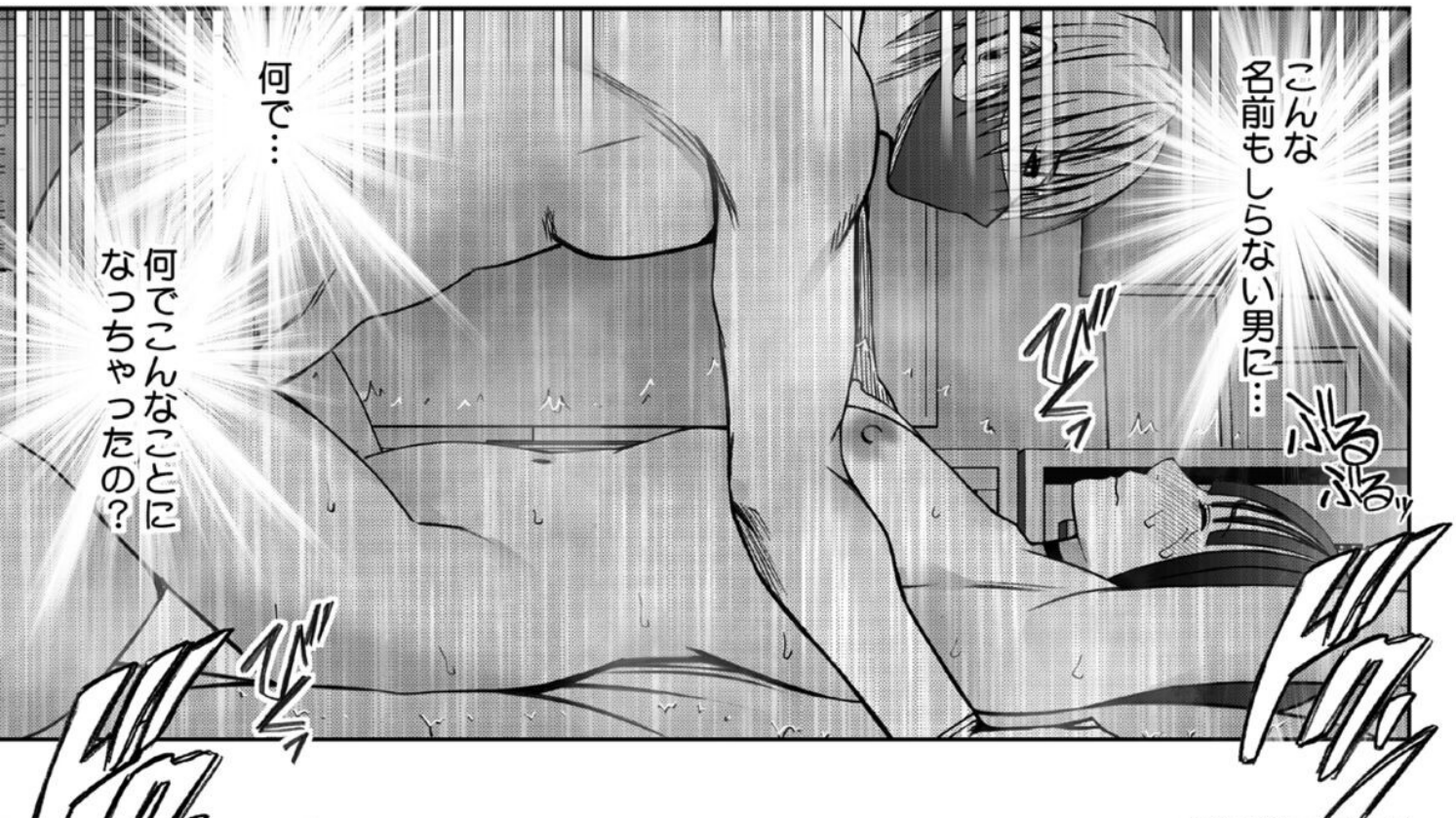
ズルッ



犯される…!!

私…

ああ…



何で…

何でこんなことになっちゃったの？

こんな名前もしらない男に…

びるびる



でも…

もう…!!

グッ

びるびる



拘束されて
逃げることも
できない

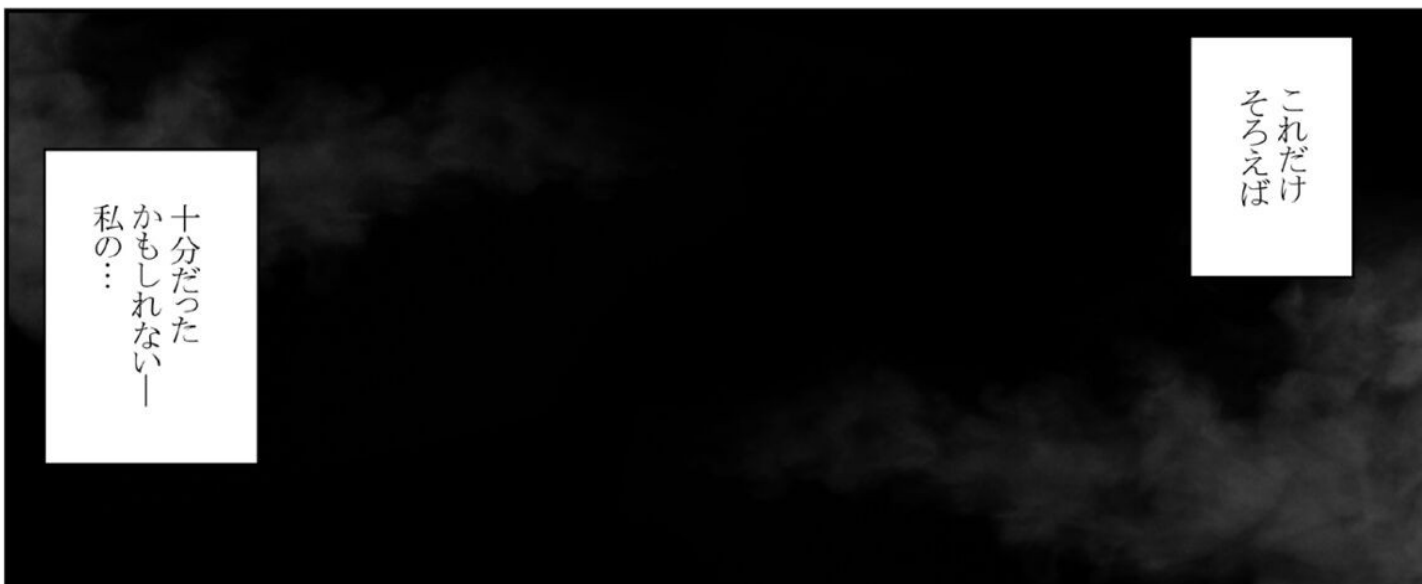


何時間も…

いや…あのホテルでの
ゲームから数えれば
何日間も焦らされて…



しかも相手は
電車で犯されそうに
なったところを
助けてもらった人…



これだけ
そろえば

十分だった
かもしれないー
私の…

名前も知らない男に
処女をささげることへの

入れても
いいよね？

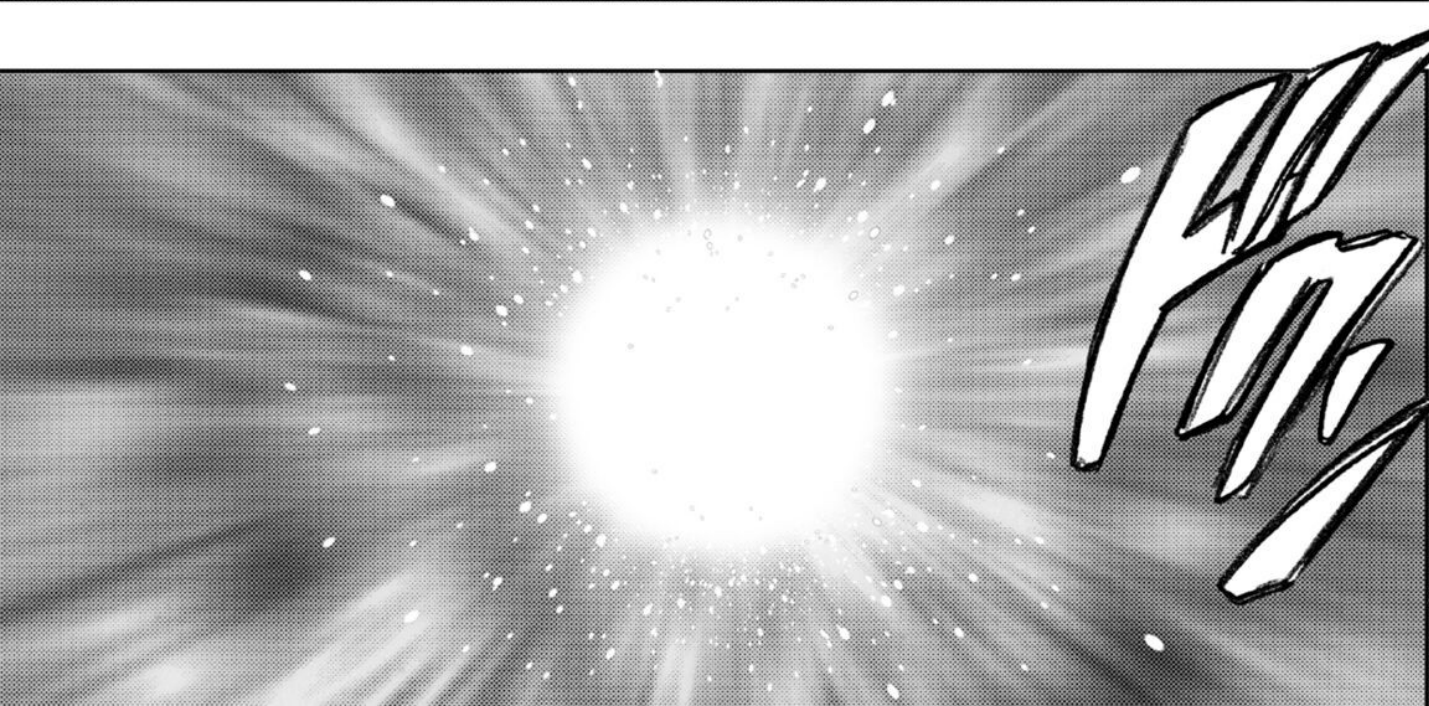
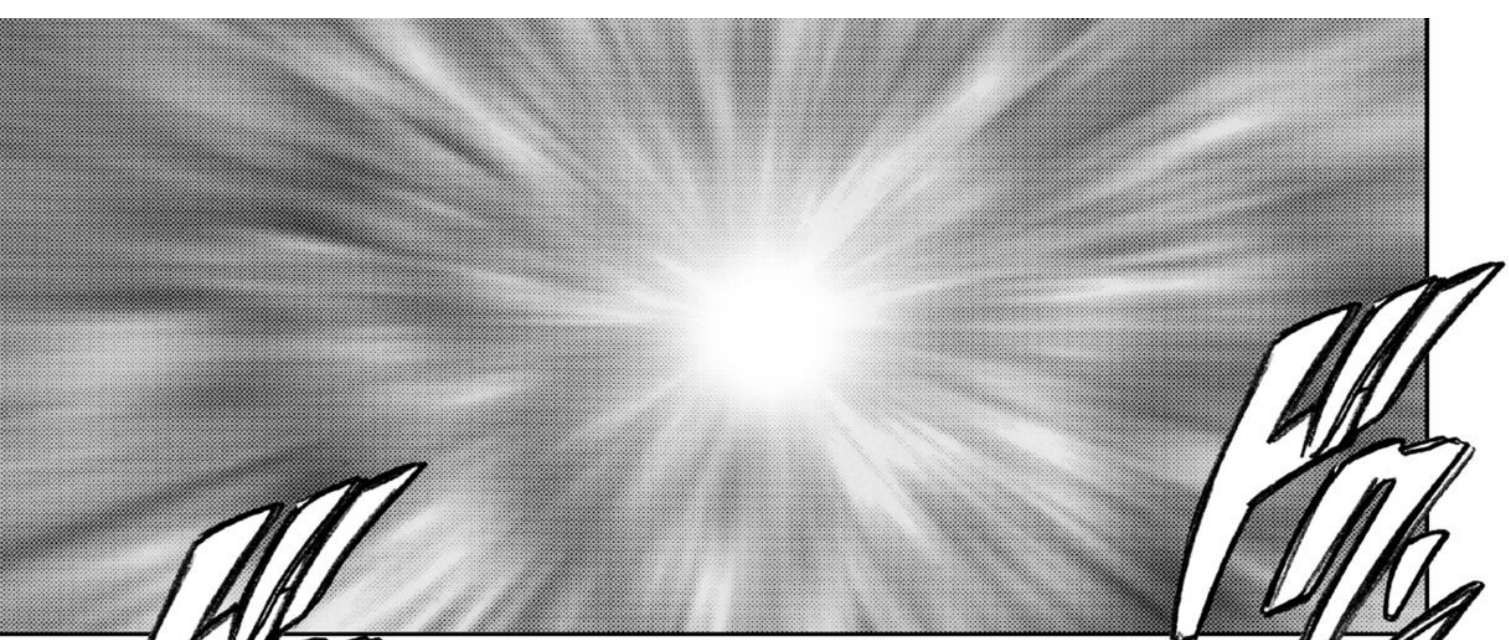
「いいわけ」は

そして私は
男の人の問いかけに

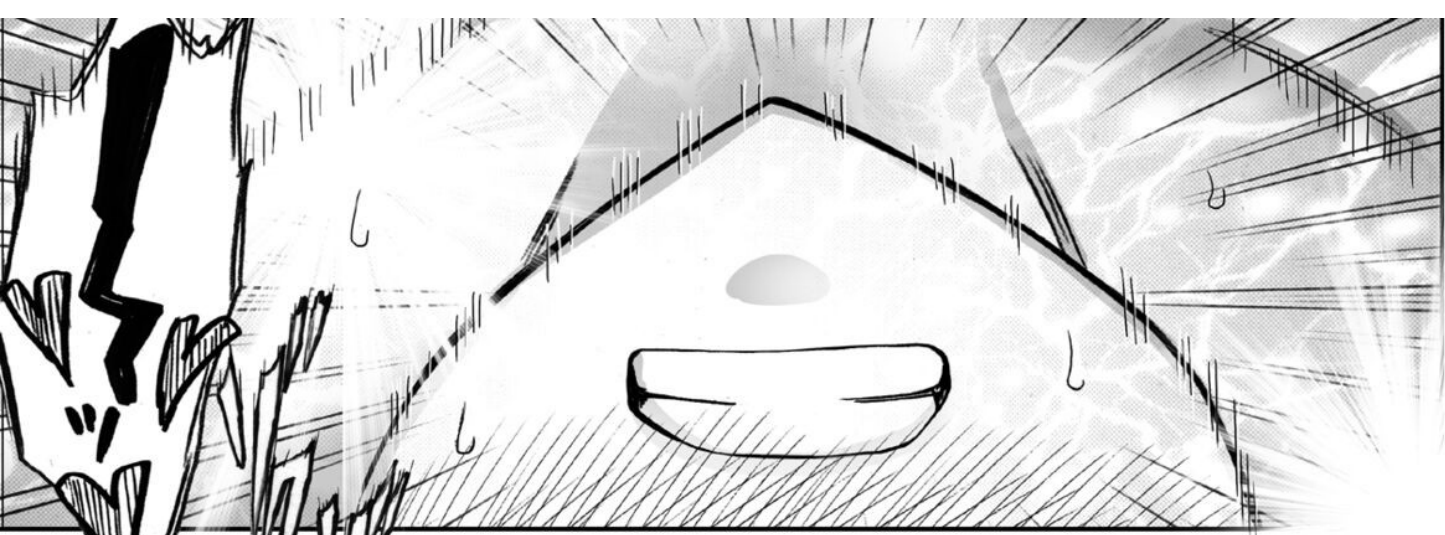
アッ

黙って
うなずいて…

グッ



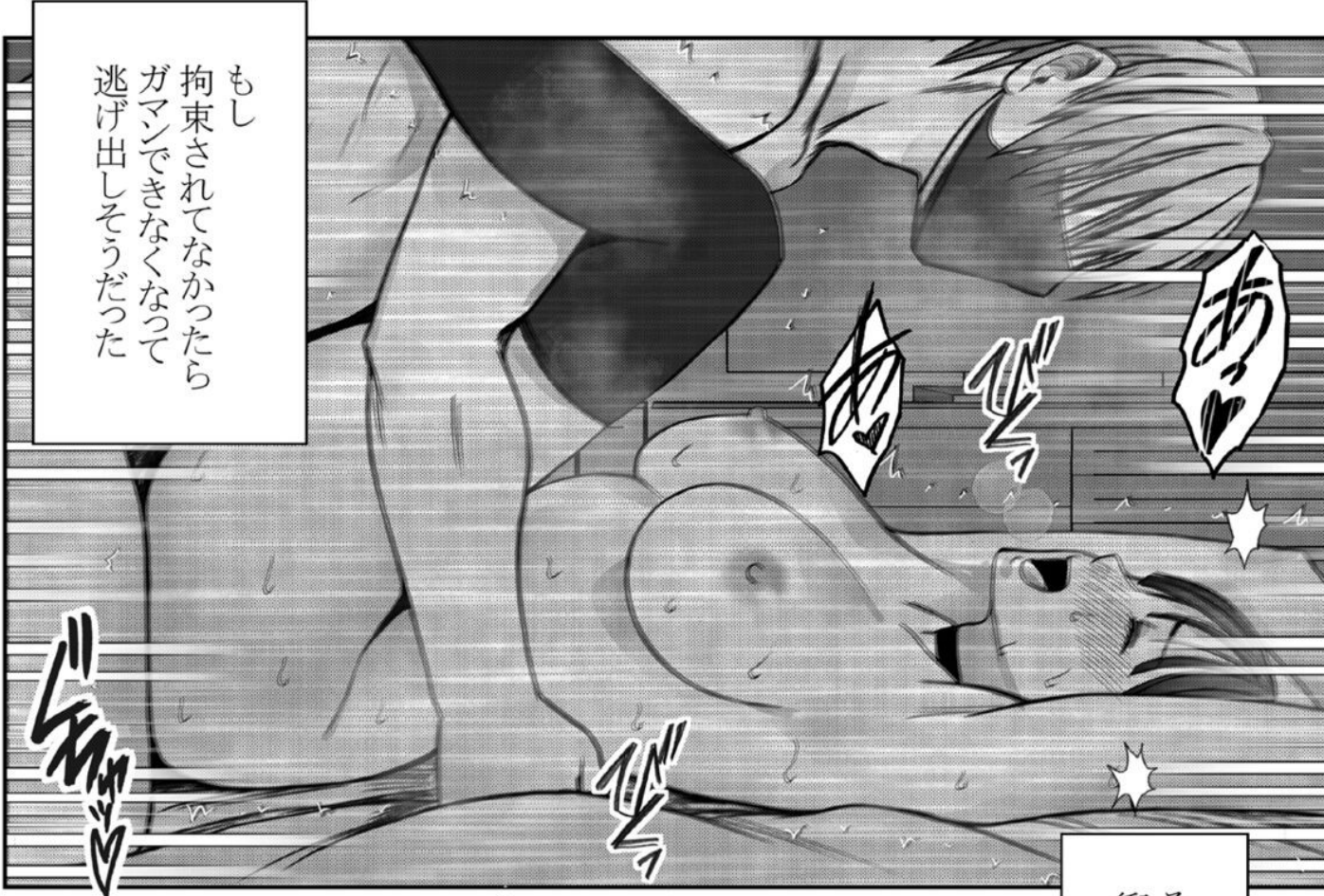






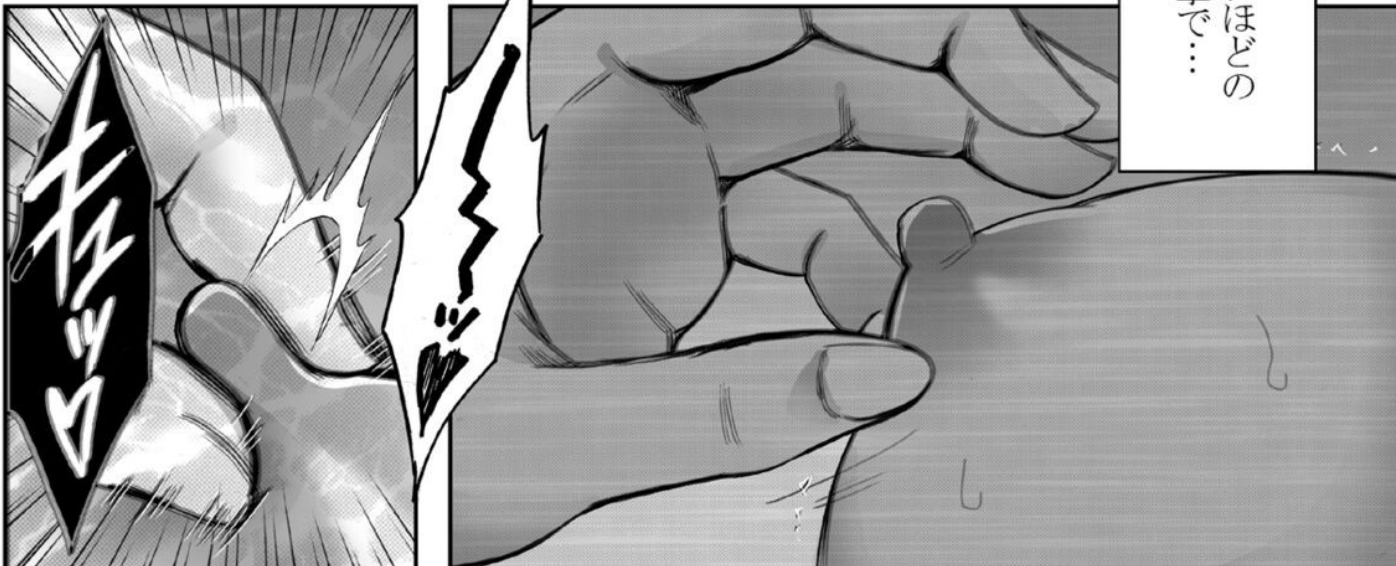


あまりの衝撃



もし
拘束されてなかったら
ガマンできなくなつて
逃げ出しそうだった

それほどの
衝撃で…





乳首を
つままれたとき

全身の快感神経が
つながったみたいになつて



快感が
私の許容量を
はるかにオーバーして…

入れられて
わずか数秒で

私は…





拘束は外してあげよう

本当に…!

もう逃げたりしないよね



入れられてる…!

私…



こんな見ず知らずの人に…!

入れられてイカされてる…!

手足は自由に使っていいから

少しくらいは快感をガマンして



気を失わないようにね



何が
ダメなんだい？

オレのモノで

こんなに
イってるじゃ
ないか？

あっ…
ダメッ…！

え…？

もうダメ…!!

キミの
カラダは

もうダメ…!!

もう

私のカラダは…!!

おし
おし

オレを
受け入れている

ズンズン

ググ

ググ



ああ……!

気持ちいい……!

んんん

また
イッちゃっう……!





ダメ…！

ダメなの…！

これは
ホントはこれは
いけないこと…！

グググ

グググ

ギョ

ギョ
ギョ



素顔さえ
名前さえも
知らない人に
犯されて

ギョ

イキまへ〜ン〜ン…！

ギョ



セックスは
心の通じあつたのも同士で
する行為

でも…
私は今…！

恋人でない
とどうするか

こんなの
ホントは
いけないこと……!

だから……
私は……




今の……
私にできることは……!

私にできる
こと……

もうこれしか
なかったのかも
しれない





私の名前は
黒羽みつですッ!

年は
20歳…ッ!

出身地は
●●
で…!

相手のことを
何も知らないのなら

せめて
自分のことを
もっと知ってもらおうと
思っ…

そうすれば
少しは心も
つながるかと思っ



でも...



!!



口を塞がれて
それも封じられて

何も抵抗させて
もらえなくなつて…

やっぱり
この人は

すべてを
見透かしてくる



アソコの中と
口の中

両方が
男の人のもので
いっぱいになって
圧迫されて

私の理性は
どンドン押しやられて



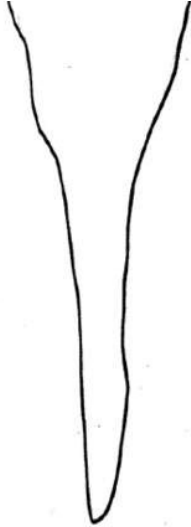


そして
私はその瞬間は



「その人に」

完全に
征服された



嬉しさなのか
悲しさなのか
気持ちよさなのか
安堵なのか
分からない

いろいろな感情が
混ざった涙が

私の中から
排出された…



それからも

私とあの人の
関係は

無くなったわけ
ではない



でも
私はいまだに

この人の名前も
知らないから

いつか
知ることが
出来るのだろうか

この人のすべてを...

あとがき

ヴァージントレインR完結です。
リメイクということで
こまかいところはいろいろ変更しましたが
ラストの展開は基本的には同じにしました。

ただ やはり最後のシーンの演出は
難しかったですね。

リメイク前の作品も持っている方は
是非 見比べてみてください。